

中学生主張発表大会
受賞者の皆さん



みんなの広場



今月のひと

インタビュー

東開文化交流サロン 館長

いけだ

けいご

池田 圭吾さん (40)

人と人がつながり、支え合うサロン

多様な人々に配慮された施設

令和4年12月に開館した東開文化交流サロンが、本年度の「北海道福祉のまちづくり賞」を公共的施設部門で受賞しました。施設内には広々とした図書室や絵本ホール、カフェギャラリーなどを備えています。

館長の池田圭吾さんは「突起が低い点字ブロックや見守り支援員などの取り組みが評価され、とても光栄です」と笑顔で話します。子どもや高齢者、障がいの有無に関わらず、多様な人々に配慮された施設です。

ボランティアから始まった福祉の道

小さな子ども連れの親子に、にこやかな表情で話しかける池田さん。落ち着いた話しぶりに安心感が漂います。

北海道医療大学在学中、ボランティアで障がい者支援に関わったのを機に福祉の道に。「最初は知識もなく戸惑うこともありましたが、心を通わせ自分を必要としてくれた

ことがうれしかった」と当時を振り返ります。卒業後、現在の社会福祉法人に就職。当別町から苫小牧に異動してきました。

愛着が持てる場所づくり

2万8千冊を蔵書予定の図書室には、アール・ブリュットと呼ばれる正規の美術教育を受けていない人の、表現活動に関する書籍が多く並びます。また、安心して利用できるよう見守り支援員を配置。利用者の変化を敏感に感じ取り、安全確保や困り事に対応します。

開館して1年。館内では障がいのある人も働いています。多様な人々と触れ合うことで、支え合いの輪が広がっています。「いろんな人が活躍でき、愛着が持てる場所にしたい」と池田さん。これからも、魅力あふれるサロンづくりに奔走します。



▲多様な人が交流するアートイベント



とまこまい 検定



▼応募はこちら



〇に当てはまる言葉は?

〇〇〇〇へ!とまこまい国スポ2024(大会テーマ)

応募方法 1月31日(木)までに答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報とまこまいへのご意見・感想を記載し、はがき(消印有効)または左記二次元コードで宛先 ▶ 〒053-8722 旭町4-5-6 秘書広報課 広報担当 応募は1人各月1回まで。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

「広報とまこまい」限定



抽選で5人にとまこまいオリジナルミラーをプレゼント!

前月号の答えは ▶ ログマーク

市役所・出張所などの連絡先

- 市役所 〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 ☎0144(32)6111(代表)
- 勇払出張所 〒059-1372 苫小牧市字勇払33番地 ☎0144(56)0003
- のぞみ出張所 〒059-1272 苫小牧市のぞみ町1丁目2番5号 ☎0144(67)0464
- 沼ノ端出張所 〒059-1304 苫小牧市北栄町3丁目3番3号 ☎0144(55)0979

市政に関するご意見、ご提案などは

- 協働・男女平等参画室 ☎0144(32)6152 FAX 0144(34)7110 メールアドレス kyodosankaku@city.tomakomai.hokkaido.jp

HPの情報はここから

- 苫小牧市役所ホームページ <https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/>

市役所HP
アクセスは
こちらから



広報とまこまいは、誰もが使いやすいように、ユニバーサルデザインに配慮した色やフォントを使用しています。また、植物油インキを使用し、環境に配慮しています。